

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 20 日 (2019.6.20)

【公表番号】特表 2017-532402 (P2017-532402A)

【公表日】平成 29 年 11 月 2 日 (2017.11.2)

【年通号数】公開・登録公報 2017-042

【出願番号】特願 2017-511759 (P2017-511759)

【国際特許分類】

C 09 J 133/04 (2006.01)

C 09 J 7/00 (2018.01)

B 32 B 27/00 (2006.01)

B 32 B 27/30 (2006.01)

【F I】

C 09 J 133/04

C 09 J 7/00

B 32 B 27/00 C

B 32 B 27/30 A

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 16 日 (2019.5.16)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0011

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0011】

それ故、本発明の第一の態様は、高極性の表面上に結合するための感圧接着剤 K の使用であって、その際該感圧接着剤 K は、ポリマー材料由来の架橋生成物であって、該ポリマー材料が、少なくとも次の成分、

(A) 少なくとも一種のポリマー成分 A であって、

(i) ポリマー成分 A の含有量に基づいて、60 重量% 以上乃至 80 重量% 以下の少なくとも一種の成分 A 1 を含み、該成分 A 1 は、

(i - a) 成分 A 1 の全含有量に基づいて、1 重量% 以上乃至 15 重量% 以下の、少なくとも一種のモノマー a であって、該モノマーは少なくとも一つのエチレン性不飽和結合を有する化合物を含み、該モノマーは、それぞれのモノマー a の対応するホモポリマーのガラス転移温度 T_g が少なくとも 0 であるように選択され、その際、モノマー a の全割合の少なくとも一部が、少なくとも一つのエチレン性不飽和結合及び少なくとも一つのカルボン酸基 (- COOH) を有する化合物を含む少なくとも一種のモノマー a 1 として存在する (A 1 の全含有量において最大 15 重量%)、少なくとも一種のモノマー a、及び

(i - b) 成分 A 1 の全含有量に基づいて、85 重量% 以上乃至 99 重量% 以下の、アクリル酸エステル及び/又はメタクリル酸エステルの群から選択される少なくとも一種のモノマー b であって、該モノマーは、それぞれのモノマー b の対応するホモポリマーのガラス転移温度 T_g が -30 以下であるように選択される、少なくとも一種のモノマー b、を含み、

その際、(i - a) 少なくとも一種のモノマー a 及び (i - b) 少なくとも一種のモノマー b は、該成分 A 1 中、合計 100 重量% の割合で存在する、成分 A 1 (A 1 = a d 100 重量%)、及び

(i i) ポリマー成分 A の含有量に基づいて、20 重量% 以上乃至 40 重量% 以下の少なくとも一種の樹脂成分 A 2、

を含み、

その際、(i) 少なくとも一種の成分 A 1 及び (i i) 少なくとも一種の樹脂成分 A 2 は、ポリマー成分 A 中、合計 1 0 0 重量 % の割合で存在する、ポリマー成分 A (A = a d 1 0 0 重量 %)、

及び、

(B) 共有結合により架橋する、二官能性化合物又は多官能性化合物を含む、なくとも一種の架橋剤成分 B であって、

その際、(A) 少なくとも一種のポリマー成分 A 及び (B) 少なくとも一種の架橋剤成分が、合計で、上記のポリマー材料 (P M = a d 1 0 0 重量 %) の全組成物の 9 5 重量 % 以上の割合で存在している、架橋剤成分 B、

を含み、

その際、該高極性の表面が、

(I) 少なくとも一つのヒドロキシル基、カルボニル基、カルボキシ基、S H 基又は N H 基及び / 又は少なくとも一つのイオン基、及び / 又は

(I I) 少なくとも一つのヒドロキシル基を含む、吸着されたマイグレーション可能な少なくとも一つの化合物を含む、上記の使用である。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 8 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 8 1】

同様に、本発明の対象は、以下の層を含む、耐水性の、レーザー書き込み可能な、かつ、多層型の物品である。

(1) 1 μ m 以上乃至 2 0 μ m、好ましくは 5 μ m 以上乃至 1 5 μ m 以下の好ましい層厚を有する、少なくとも一つのグラビア層、特に、アクリレート塗料を含むグラビア層か又は金属層、

(2) 特に、塗料、好ましくは、アクリレート塗料を含み、かつ、該グラビア層の下に配置された、少なくとも一つのコントラスト層、及び

(3) 該コントラスト層の下に配置された、前記感圧接着剤 K を含む少なくとも一つの接着層であって、その際、該感圧接着剤 K は、少なくとも次の成分を含むポリマー材料由来の架橋生成物である。

(A) 少なくとも一種のポリマー成分 A であって、

(i) ポリマー成分 A の含有量に基づいて、6 0 重量 % 以上乃至 8 0 重量 % 以下の少なくとも一種の成分 A 1 を含み、該成分 A 1 は、

(i - a) 成分 A 1 の全含有量に基づいて、3 重量 % 以上乃至 1 5 重量 % 以下の、少なくとも一種のモノマー a であって、該モノマーは少なくとも一つのエチレン性不飽和結合を有する化合物を含み、該モノマーは、それぞれのモノマー a の対応するホモポリマーのガラス転移温度 T_g が少なくとも 0 であるように選択され、その際、モノマー a の全割合の少なくとも一部が、少なくとも一つのエチレン性不飽和結合及び少なくとも一つのカルボン酸基 (- C O O H) を有する化合物を含む少なくとも一種のモノマー a 1 として存在する、少なくとも一種のモノマー a であって、好ましくは、成分 A 1 の全含有量に基づいて 3 重量 % 以上乃至 8 重量 % 以下の該モノマー a 1 の割合を有する、及び

(i - b) 成分 A 1 の全含有量に基づいて、8 5 重量 % 以上乃至 9 7 . 5 重量 % 以下の、アクリル酸エステル及び / 又はメタクリル酸エステルからなる群から選択される少なくとも一種のモノマー b であって、該モノマーは、それぞれのモノマー b の対応するホモポリマーのガラス転移温度 T_g が - 3 0 以下であるように選択される、少なくとも一種のモノマー b、

を含み、

その際、(i - a) 少なくとも一種のモノマー a 及び (i - b) 少なくとも一種のモノ

マー b は、該成分 A 1 中、合計 100 重量% (A 1 = a d 100 重量%) の割合で存在する、成分 A 1、及び

(i i) ポリマー成分 A の含有量に基づいて、20 重量% 以上乃至 40 重量% 以下の少なくとも一種の樹脂成分 A 2、

を含み、

その際、(i) 少なくとも一種の成分 A 1 及び (i i) 少なくとも一種の樹脂成分 A 2 は、ポリマー成分 A 中、合計 100 重量% (A = a d 100 重量%) の割合で存在する、ポリマー成分 A、

及び、

(B) 共有結合により架橋する、二官能性成分又は多官能性成分を含む、少なくとも一種の架橋剤成分 B であって、

その際、(A) 少なくとも一種のポリマー成分 A 及び (B) 少なくとも一種の架橋剤成分は、合計で、上記のポリマー材料の全組成物 (P M = a d 100 重量%) に対して 95 重量% 以上の割合で存在している、架橋剤成分 B。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0106

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0106】

本発明の耐水性のレーザー書き込み可能かつ多層型の物品は、様々な方法で製造できる。一実施形態において、本発明は、耐水性の多層型の、特に、レーザー書き込み可能な、そして好ましくは、追加的に偽造防止性の物品を製造する方法、並びに、この方法で得られた物品に関し、該方法は次の工程：

- 1) 任意に支持フィルムを提供する工程、
- 2) 該支持フィルムにグラビア層、特に、塗料層又は金属層を施用する工程、
- 3) 該グラビア層上に、特に、アクリレート塗料組成物のコントラスト層を製造するための組成物を施用する工程、
- 4) コントラスト層を得るために、前記工程 3) からの該組成物を硬化させる工程、
- 5) 前記コントラスト層上に感圧接着剤 K を施用し、該感圧接着剤 K を保護紙又は剥離ライナーでカバーする工程であって、

その際、該感圧接着剤 K が、ポリマー材料由来の架橋生成物であって、該ポリマー材料は、少なくとも次の成分、

(A) 少なくとも一種のポリマー成分 A であって、

(i) ポリマー成分 A の含有量に基づいて、60 重量% 以上乃至 80 重量% 以下の少なくとも一種の成分 A 1 を含み、該成分 A 1 は、

(i - a) 成分 A 1 の全含有量に基づいて、3 重量% 以上乃至 15 重量% 以下の、少なくとも一種のモノマー a であって、該モノマーは少なくとも一つのエチレン性不飽和結合を有する化合物を含み、該モノマーは、それぞれのモノマー a の対応するホモポリマーのガラス転移温度 T_g が少なくとも 0 であるように選択され、その際、モノマー a の全割合の少なくとも一部が、少なくとも一つのエチレン性不飽和結合及び少なくとも一つのカルボン酸基を有する化合物を、好ましくは、成分 A 1 の全含有量に基づいて 3 重量% 以上乃至 8 重量% 以下の割合で含む少なくとも一種のモノマー a 1 として存在する、少なくとも一種のモノマー a、及び

(i - b) 成分 A 1 の全含有量に基づいて、85 重量% 以上乃至 97 重量% 以下の、アクリル酸エステル及びノ又はメタクリル酸エステルからなる群から選択される少なくとも一種のモノマー b であって、該モノマーは、それぞれのモノマー b の対応するホモポリマーのガラス転移温度 T_g が -30 以下であるように選択される、少なくとも一種のモノマー b、

を含み、

その際、(i - a) 少なくとも一種のモノマー a 及び (i - b) 少なくとも一種のモノマー b は、該成分 A 1 中、合計 100 重量 % の割合 ($A1 = ad100$ 重量 %) で存在する、成分 A 1、及び

(i i) ポリマー成分 A の含有量に基づいて、20 重量 % 以上乃至 40 重量 % 以下の少なくとも一種の樹脂成分 A 2、
を含み、

その際、(i) 少なくとも一種の成分 A 1 及び (i i) 少なくとも一種の樹脂成分 A 2 は、ポリマー成分 A 中、合計 100 重量 % の割合 ($A = ad100$ 重量 %) で存在する、ポリマー成分 A、
及び、

(B) 共有結合により架橋する、二官能性化合物又は多官能性化合物を含む、少なくとも一種の架橋剤成分 B であって、

その際、(A) 少なくとも一種のポリマー成分 A 及び (B) 少なくとも一種の架橋剤成分は、合計で、上記のポリマー材料の全組成物の 95 重量 % 以上の割合 ($PM = ad100$ 重量 %) で存在している、架橋剤成分 B
を含む、工程、及び

6) 該支持フィルムを除去する工程、
を含む。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0123

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0123】

水負荷試験 (図 5 参照)

水負荷試験又は試験接着テープの耐水性は、40 の温度及び 60 の温度で、テンパリング可能なオープン 20 で遂行した (図 5 参照) 。そのオープンの室内には、蓋 (図示しない) でカバー可能な試料保持器 7 があり、それは、蒸留水 8 で満たされている。水の体積は、試験接着テープ 5 が、試験期間にわたり、蒸留水で完全に覆われるように選択される。試験期間にわたって、該試験保持器は、水の蒸発が最小限となるようにカバーされる。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1】

高極性の表面上に結合するための感圧接着剤 K の使用であって、その際、該感圧接着剤 K が、ポリマー材料由来の架橋生成物であって、該ポリマー材料は、少なくとも次の成分、

(A) 少なくとも一種のポリマー成分 A であって、

(i) ポリマー成分 A の含有量に基づいて、60 重量 % 以上乃至 80 重量 % 以下の少なくとも一種の成分 A 1 を含み、該成分 A 1 は、

(i - a) 成分 A 1 の全含有量に基づいて、1 重量 % 以上乃至 15 重量 % 以下の、少なくとも一種のモノマー a であって、該モノマーは少なくとも一つのエチレン性不飽和結合を有する化合物を含み、該モノマーは、それぞれのモノマー a の対応するホモポリマーのガラス転移温度 T_g が少なくとも 0 であるように選択され、その際、モノマー a の全割合の少なくとも一部が、少なくとも一つのエチレン性不飽和結合及び少なくとも一つのカルボン酸基を有する化合物を含む少なくとも一種のモノマー a 1 として存在する、少なくとも一種のモノマー a、及び

(i - b) 成分 A 1 の全含有量に基づいて、85 重量%以上乃至99 重量%以下の、アクリル酸エステル及び/又はメタクリル酸エステルからなる群から選択される少なくとも一種のモノマー b であって、該モノマーは、それぞれのモノマー b の対応するホモポリマーのガラス転移温度 T_g が -30 以下であるように選択される、少なくとも一種のモノマー b、

を含み、

その際、(i - a) 少なくとも一種のモノマー a 及び(i - b) 少なくとも一種のモノマー b は、該成分 A 1 中、合計100 重量%の割合で存在する、成分 A 1、及び

(i i) ポリマー成分 A の含有量に基づいて、20 重量%以上乃至40 重量%以下の少なくとも一種の樹脂成分 A 2、

を含み、

その際、(i) 少なくとも一種の成分 A 1 及び(i i) 少なくとも一種の樹脂成分 A 2 は、ポリマー成分 A 中、合計100 重量%の割合で存在する、ポリマー成分 A、

及び、

(B) 共有結合により架橋する、二官能性化合物又は多官能性化合物を含む、少なくとも一種の架橋剤成分 B であって、

その際、(A) 少なくとも一種のポリマー成分 A 及び(B) 少なくとも一種の架橋剤成分 B は、合計で、上記のポリマー材料の全組成物の95 重量%以上の割合で存在している、架橋剤成分 B

を含み、

その際、該高極性の表面が、

(I) 少なくとも一つのヒドロキシル基、カルボニル基、カルボキシ基、SH 基又はNH 基及び/又は少なくとも一つのイオン基、及び/又は

(I I) 少なくとも一つのヒドロキシル基を含む、吸着されたマイグレーション可能な少なくとも一つの化合物を含む、上記の使用。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1 3】

(1) 少なくとも一つのグラビア層、

(2) 該グラビア層の下に配置された、少なくとも一つのコントラスト層、及び

(3) 該コントラスト層の下に配置された、感圧接着剤 K を含む少なくとも一つの接着層、

を含む、耐水性、レーザー書き込み可能な多層型物品であって、

その際、該感圧接着剤 K が、ポリマー材料由来の架橋生成物であって、該ポリマー材料は、少なくとも次の成分、

(A) 少なくとも一種のポリマー成分 A であって、

(i) ポリマー成分 A の含有量に基づいて、60 重量%以上乃至80 重量%以下の少なくとも一種の成分 A 1 を含み、該成分 A 1 は、

(i - a) 成分 A 1 の全含有量に基づいて、2.5 重量%以上乃至15 重量%以下の、少なくとも一種のモノマー a であって、該モノマーは少なくとも一つのエチレン性不飽和結合を有する化合物を含み、該モノマーは、それぞれのモノマー a の対応するホモポリマーのガラス転移温度 T_g が少なくとも0 であるように選択され、その際、モノマー a の全割合の少なくとも一部が、少なくとも一つのエチレン性不飽和結合及び少なくとも一つのカルボン酸基を有する化合物を含む少なくとも一種のモノマー a 1 として存在する、少なくとも一種のモノマー a、及び

(i - b) 成分 A 1 の全含有量に基づいて、85 重量%以上乃至97.5 重量%以下の、アクリル酸エステル及び/又はメタクリル酸エステルからなる群から選択される少なくと

も一種のモノマー b であって、該モノマーは、それぞれのモノマー b の対応するホモポリマーのガラス転移温度 T_g が - 30 以下であるように選択される、少なくとも一種のモノマー b、
を含み、

その際、(i - a) 少なくとも一種のモノマー a 及び (i - b) 少なくとも一種のモノマー b は、該成分 A 1 中、合計 100 重量 % の割合で存在する、成分 A 1、及び
(i i) ポリマー成分 A の含有量に基づいて、20 重量 % 以上乃至 40 重量 % 以下の少なくとも一種の樹脂成分 A 2、
を含み、

その際、(i) 少なくとも一種の成分 A 1 及び (i i) 少なくとも一種の樹脂成分 A 2 は、ポリマー成分 A 中、合計 100 重量 % の割合で存在する、ポリマー成分 A、
及び、

(B) 共有結合により架橋する、二官能性化合物又は多官能性化合物を含む、少なくとも一種の架橋剤成分 B であって、

その際、(A) 少なくとも一種のポリマー成分 A 及び (B) 少なくとも一種の架橋剤成分は、合計で、上記のポリマー材料の全組成物の 95 重量 % 以上の割合で存在している、
架橋剤成分 B

を含む、吸着されたマイグレーション可能な少なくとも一つの化合物を含む、上記の物品
。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 2 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 2 1】

請求項 1 3 ~ 1 8 のいずれか一つに記載の多層型物品の製造方法であって、該方法が、
1) 支持フィルムを提供する工程、

2) 該支持フィルムにグラビア層を施用する工程、

3) 該グラビア層上にコントラスト層を製造するための組成物を施用する工程、

4) コントラスト層を得るために、前記工程 3) からの該組成物を硬化させる工程、

5) 前記コントラスト層上に感圧接着剤 K を施用し、該感圧接着剤 K を保護紙又は剥離ライナーでカバーする工程であって、

その際、該感圧接着剤 K が、ポリマー材料由来の架橋生成物であって、該ポリマー材料は、少なくとも次の成分、

(A) 少なくとも一種のポリマー成分 A であって、

(i) ポリマー成分 A の含有量に基づいて、60 重量 % 以上乃至 80 重量 % 以下の少なくとも一種の成分 A 1 を含み、該成分 A 1 は、

(i - a) 成分 A 1 の全含有量に基づいて、3 重量 % 以上乃至 15 重量 % 以下の、少なくとも一種のモノマー a であって、該モノマーは少なくとも一つのエチレン性不飽和結合を有する化合物を含み、該モノマーは、それぞれのモノマー a の対応するホモポリマーのガラス転移温度 T_g が少なくとも 0 であるように選択され、その際、モノマー a の全割合の少なくとも一部が、少なくとも一つのエチレン性不飽和結合及び少なくとも一つのカルボン酸基を有する化合物を含む少なくとも一種のモノマー a 1 として存在する、少なくとも一種のモノマー a、及び

(i - b) 成分 A 1 の全含有量に基づいて、85 重量 % 以上乃至 97 重量 % 以下の、アクリル酸エステル及び / 又はメタクリル酸エステルからなる群から選択される少なくとも一種のモノマー b であって、該モノマーは、それぞれのモノマー b の対応するホモポリマーのガラス転移温度 T_g が - 30 以下であるように選択される、少なくとも一種のモノマー b、
を含み、

その際、(i - a) 少なくとも一種のモノマー a 及び (i - b) 少なくとも一種のモノマー b は、該成分 A 1 中、合計 1 0 0 重量 % の割合で存在する、成分 A 1、及び (i i) ポリマー成分 A の含有量に基づいて、2 0 重量 % 以上乃至 4 0 重量 % 以下の少なくとも一種の樹脂成分 A 2、
を含み、

その際、(i) 少なくとも一種の成分 A 1 及び (i i) 少なくとも一種の樹脂成分 A 2 は、ポリマー成分 A 中、合計 1 0 0 重量 % の割合で存在する、ポリマー成分 A、
及び、

(B) 共有結合により架橋する、二官能性化合物又は多官能性化合物を含む、少なくとも一種の架橋剤成分 B であって、

その際、(A) 少なくとも一種のポリマー成分 A 及び (B) 少なくとも一種の架橋剤成分 B は、合計で、上記のポリマー材料の全組成物の 9 5 重量 % 以上の割合で存在している、架橋剤成分 B

を含む、工程、及び

6) 該支持フィルムを除去する工程、
を含む、上記の方法。